

# 車力マコガレイ種苗作出試験

(要 約)

高橋進吾

## 目 的

日本海系群(つがる市車力産)のマコガレイ親魚から種苗の作出試験を行い、種苗放流による日本海系群の資源造成を図る。

## 材料と方法

### 1 種苗生産技術開発

#### (1)種苗生産

つがる市車力地先で漁獲されたマコガレイ親魚 18 尾(雌 14 尾、雄 4 尾)から、平成 24 年 4 月 3 日に人工採卵を行い、そのふ化仔魚を用いて種苗生産試験を行った。

#### (2)中間育成

種苗生産で得られた稚魚を用いて、当研究所の陸上水槽(10 t 円形水槽 3 面、30 t 円形水槽 2 面)を用いて飼育試験を行い、つがる市車力地先に放流した。

## 結果と考察

### 1 種苗生産技術開発

#### (1)種苗生産

ふ化仔魚 34.0 万尾(ふ化率 82%)を用いて種苗生産試験を行った結果、平均全長 21.4mm、5.2 万尾の稚魚を生産し、生残率は 15.3%であった(表 1)。

表1 マコガレイ種苗生産結果

生産 回次	ふ化仔魚の収容			取り上げ稚魚				生残率 (%)
	年月日	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	年月日	飼育 期間	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	
1	H24.4.15	4.2	16.0	H24.7.5	81 日	22.4	2.2	13.8
2	H24.4.18	4.3	18.0	H24.7.4	77 日	20.4	3.0	16.7
	合 計		34.0			21.4	5.2	15.3

#### (2)中間育成

種苗生産で得られた稚魚 5.2 万尾を用いて、平成 24 年 7 月 4~5 日から飼育試験を開始した。陸上水槽を用いて 14~69 日間の飼育を行い、7~9 月にかけて計 28,300 尾(平均全長 29.3~54.5 mm)をつがる市車力地先に放流した(表 2)。

発表誌：車力マコガレイ種苗作出試験報告書。(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所、平成 24 年 8 月

表2 マコガレイ中間育成(陸上水槽)結果

生産 回次	開始				終了(放流)				生残率 (%)
	年月日	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	使用水槽	年月日	飼育 期間	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	
1-1	H24.7.5	22.4	12,000	円型20t・1面	H24.7.19	14日	29.3	10,000	83.3
1-2	H24.7.5	22.4	10,000	円型10t・2面	H24.8.8	34日	38.4	4,500	45.0
2-1	H24.7.4	20.4	6,000	円型10t・1面	H24.8.8	35日	36.6	2,600	43.3
2-2	H24.7.4	20.4	14,000	円型30t・1面	H24.8.22	49日	54.5	6,200	44.3
2-3	H24.7.4	20.4	10,000	円型30t・1面	H24.9.11	69日	48.7	5,000	50.0
		合計	52,000				合計	28,300	54.4